

編修趣意書

教育基本法との対照表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
103-195	高等学校	芸術科	美術Ⅱ	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38 光村	美Ⅱ 701	美術2		

1. 編修の基本方針

「美術が、人を、社会を変えていく」

「美術Ⅰ」では、美術の基礎的な力や、生涯にわたり美術を愛好する心情を育みました。「美術Ⅱ」では、「美術Ⅰ」の学習を基礎とし、美術が生活や社会においてどのような役割を果たしているか考え、主体性や独自性を生かして取り組めるように、次のことを基底において編修しました。

1 生活や社会における美術の役割を考える

—— 生活や社会の中での美術の役割について考えられる作品と出会える教科書です。

環境問題をテーマにした作品を鑑賞したり、問題解決のためのデザインを考えたりする題材を位置づけ、生活や社会の中で、美術がどのような役割を果たしているかを考え、自分の表現に活かせるようにしました。

2 主題生成のための手がかりを示す

—— 主題を生むための手がかりを詳しく紹介している教科書です。

各題材において、作品の発想のしかたや表現技法などを具体的に示し、生徒たちがみずから作品の主題を生み出せるようにしました。掲載作品については、作者の表現の意図を示したり、関連性のある作品を比較して鑑賞させたりすることで、作者の表現の工夫を感じ取らせる工夫をしました。

3 造形的な見方・考え方を育む

—— 「美術Ⅰ」で培った造形的な見方・考え方を、さらに育てていくことができる教科書です。

造形的な視点を豊かにもって対象や事象を捉え、創造的に考えを巡らせる資質・能力を育成できるよう、形や色彩などを意識して鑑賞させる作品配置にしたり、適宜、造形的な視点に関わる問いかけを入れたりしました。

2

主題生成のための手がかりを示す

—— 主題を生むための手がかりを詳しく紹介している教科書です。

作家の制作過程を詳しく紹介し、主題を生み出す手がかりを示しました

「作家の手法」という作家の制作過程を詳しく紹介するページを設けました。生徒が作品の主題を生み出す手がかりになるよう、作家が作品をどう発想し、つくりあげていったかを丁寧に示しました。



「素材と向き合う」という題材では、彫刻家・青木野枝の制作過程を、詳しく紹介しました。アイデアスケッチを重ね、試行錯誤しながら作品をつくり上げていく様子がわかります。

P.30~31「作家の手法 青木野枝」

3

造形的な見方・考え方を育む

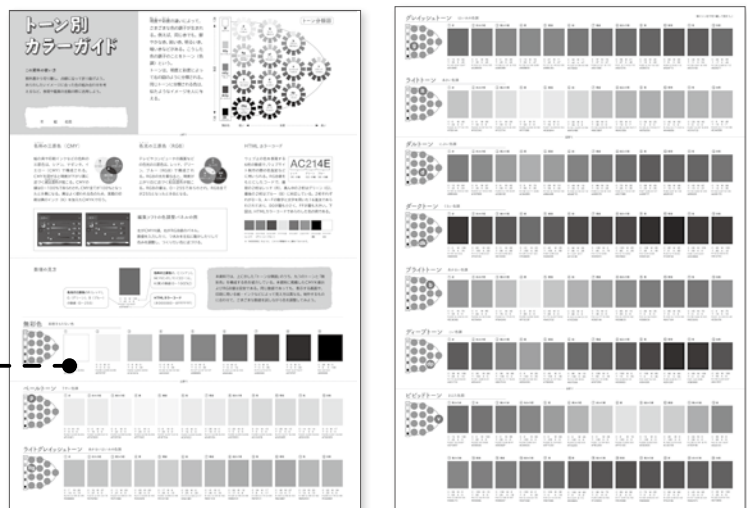
—— 「美術I」で培った造形的な見方・考え方を、さらに育てていくことができる教科書です。

色彩についての理解が深められる資料

色彩についての理解を深めることができるよう、巻末に「トーン別カラーガイド」を綴じ込みました。切り離して持ち運ぶことができるので、表現や鑑賞の活動の際に、いつでも活用することができます。

ミシン目で切り離して折り曲げることで、気軽に携帯して活用することができます。

切り離し式「トーン別カラーガイド」



2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
はじめに	美術の活動へと誘う「人を、社会を変えていく」という文章を掲載し、生徒が真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うよう配慮した。【第一号】	P.2-3
	自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うため、他者と共同で制作した作品を掲載した。【第三号】	P.4-5
絵画・彫刻	生徒自身が考え、判断し、真理を求めようとする態度を養うために、各題材に目標を明示した。【第一号】	P.6-33
	互いの価値観を尊重しながら創造性を培うことができるよう、さまざまな発想のもとでつくられた作品を掲載するとともに、適宜「作者の言葉」を添えた。【第二号】	P.6-33
	現在活躍している作家を取り上げ、作品をつくるうえでの考えや制作過程を紹介した「作家の手法」を掲載し、作家としての生き方に触れ、勤労を重んずる態度を養うよう配慮した。【第二号】	P.23 P.30-31
	公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うために、被災地で制作された作品を掲載した。【第三号】	P.32
	生命を尊び、自然を大切にすることを養うため、植物を描いた作品を比較して鑑賞する題材を設定した。【第四号】	P.6-7
他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うため、世界文化遺産に登録された文化財などを掲載した。【第五号】	P.12-19	
デザイン	生徒自身が考え、判断し、真理を求めようとする態度を養うために、各題材に目標を明示した。【第一号】	P.34-47
	互いの価値観を尊重しながら創造性を培うことができるよう、さまざまな発想のもとでつくられた作品を掲載するとともに、適宜「作者の言葉」を添えた。【第二号】	P.34-47
	現在活躍している作家を取り上げ、作品をつくるうえでの考えや制作過程を紹介した「作家の手法」を掲載し、作家としての生き方に触れ、勤労を重んずる態度を養うよう配慮した。【第二号】	P.40-41 P.46-47
	公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うために、公共施設のデザインや問題解決のためのデザインなど、社会におけるデザインの働きを取り上げた。【第三号】	P.34-47
	自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うため、環境負荷を軽減するためのデザインや、その土地の風土や自然素材を生かした住宅のデザインなどを掲載した。【第四号】	P.38 P.44-47
	国際的なイベントのポスターや、諸外国の文化を反映した住宅デザインを掲載し、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うよう配慮した。【第五号】	P.36-37 P.44-47
映像メディア表現	生徒自身が考え、判断し、真理を求めようとする態度を養うために、各題材に目標を明示した。【第一号】	P.48-55
	互いの価値観を尊重しながら創造性を培うことができるよう、さまざまな発想のもとでつくられた作品を掲載するとともに、適宜「作者の言葉」を添えた。【第二号】	P.48-55
	現在活躍している作家を取り上げ、作品をつくるうえでの考えや制作過程を紹介した「作家の手法」を掲載し、作家としての生き方に触れ、勤労を重んずる態度を養うよう配慮した。【第二号】	P.51
	生命を尊び、自然を大切にすることを養うため、風景から感じ取ったことをもとにあらわした作品を掲載した。【第四号】	P.48-50
資料	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うよう、写真に関する資料、アニメーションの歴史、絵画を読み解く資料などを掲載した。【第一号】	P.56-65
	技法や用具の使い方などを汎用性の高い内容に整理して掲載し、生徒自身が必要に応じて参照することで、自主及び自律の精神をもって学習を進められるように配慮した。【第二号】	P.66-67
	我が国の伝統と文化とともに他国を尊重する態度を養うため、日本及び諸外国のアニメーションの歴史などを掲載した。【第五号】	P.62-63

編修趣意書

学習指導要領との対照表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
103-195	高等学校	芸術科	美術Ⅱ	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38 光村	美Ⅱ 701	美術2		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

「高等学校学習指導要領 第1章 総則」および「第2章 第7節 芸術」,「第2款 第5 美術Ⅱ」に示された内容に基づいて編修しました。美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力の育成を旨としました。さらに、主体的・対話的で深い学びを実現できるよう、次のことを基底において編修しました。

①教科書の構成

学習指導要領の構成に合わせ、A 表現の「絵画・彫刻」「デザイン」「映像メディア表現」とB鑑賞の領域、巻末資料とに分けて整理しています。また、それぞれが一目で分かるようにインデックスで色分けをし、授業で活用しやすいようにしました。また、授業でよく行われる題材については4ページの構成にし、表現の手立てを詳しく示しました。創造的な表現や鑑賞の意欲を高めるため、適宜、次のようなページを設けています。

- ・「作家の手法」……作家が作品をどう発想し、どのように作りあげていったのかを詳しく紹介。生徒が主題を生み出し、発想して構想する手がかりとして設けました。
- ・「比べて鑑賞する」……さまざまな特徴をもつ作品を並べて掲載。比較して鑑賞することで、作者の表現の工夫を感じ取れるようにしました。

②造本上の工夫

天井画を鑑賞する題材は両観音開きの構成にしたり、制作に活用できる「トーン別カラーガイド」は切り取り線を入れて切り離し式にしたりするなど、生徒たちの鑑賞や表現の活動を豊かにするため、造本上の工夫を施しました。



P.15～18「システーナ礼拝堂 天井画」

システーナ礼拝堂の天井画を4ページにわたりダイナミックに印刷。細部まで鑑賞できるようにしました。

③ 巻末資料の充実

新たに設けられた〔共通事項〕に対応するため、巻末資料をさらに充実させました。

【色彩に関する資料】

切り離して使える「トーン別カラーガイド」を綴じ込みました。気軽に持ち運べ、表現や鑑賞の活動のさまざまな場面に活用することができます。

【映像メディア表現に関する資料】

写真を撮影したり編集したりする方法を、具体例を示しながら詳しく紹介しました。

【美術史に関する資料】

キーワードとともにアニメーションの歴史をたどる「アニメーションの歴史」を設け、美術文化に関する知識が深まるように配慮しました。

【その他の資料】

「漫画表現の技法」などの資料や、「絵に隠された謎を読み解く」という西洋絵画の読み解き方を具体的に紹介した資料など、表現や鑑賞の活動に生かせる多様な資料を用意しました。

④ 二次元コードでさらに深い学びへ

各題材や巻末資料には、適宜、二次元コードを掲載し、関連するウェブコンテンツへリンクしました。

【音声ガイド】

大きく掲載する鑑賞図版には、作品に関する情報をコンパクトにまとめた音声ガイドを用意し、鑑賞を深められるようにしました。

【技法動画】

鉛筆デッサン（静物、石膏像）、風景画、油彩画、日本画などは、描く手順を動画でわかりやすく紹介しました。また、彫刻（塑造）や、版画（多版多色刷木版）をつくる手順も動画で詳しく紹介しています。

【作家の制作過程を記録した動画】

「作家の手法」で紹介した作品の制作過程を動画を用意し、作者の表現の工夫をさらに捉えやすくしました。

【生徒作品】

全国の生徒作品を掲載したウェブコンテンツを用意し、関連する題材にリンクさせました。多様な生徒作品を鑑賞することで、自分の表現へ生かすことができます。

全国の高校生の作品を集め、カテゴリごとにまとめたコンテンツへ適宜、リンクを貼っています。作品画像をクリックすると、拡大図版と「作者の言葉」を確認することができます。

【美術史ワード】

美術史に関連する用語をわかりやすく解説しました。

【関連ウェブサイト】

作家作品の動画や、作家のウェブサイトなど、関連するサイトにリンクさせました。



教科書の特徴

編集上の留意点	
教育基本法・ 学校教育法との対応	<ul style="list-style-type: none"> 教育基本法, 学校教育法の理念を踏まえ, 美術の学習を通して幅広い知識と教養を身につけ, さらに, 「思考力・判断力・表現力」や「学びに向かう力」など, 生きる力を支える能力を養えるよう配慮しました。
学習指導要領との対応	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の目標および内容をもれなく指導できるよう, 題材を選定・作成しました。 各題材の目標を明確にし, 表現や鑑賞の活動を通して「発想や構想に関する資質・能力」, 「技能に関する資質・能力」, 「鑑賞に関する資質・能力」を着実に身につけられるよう, 全体を通して系統的に配列しました。
題材の配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> 「絵画・彫刻」「デザイン」「映像メディア表現」という分野ごとに構成し, 題材の内容に応じて「表現中心の題材」「鑑賞中心の題材」と明記することで, 生徒が学習の内容をイメージしやすいよう配慮しました。 巻末に, 材料と用具や〔共通事項〕に関わる資料をまとめた「資料」を設け, 生徒が必要に応じて活用できるようにしました。
掲載作品の選定	<ul style="list-style-type: none"> 発達段階や, 生徒の学習意欲を喚起することを考慮し, 作品を選定しました。 掲載作品については, 地域や時代, 性別に偏りが出ないように配慮し, また, 生徒の主体的・対話的な学びが生まれるような作品を選定しました。
主体的・対話的で 深い学びへの対応	<ul style="list-style-type: none"> 各題材の作品の掲載意図を明確にし, 生徒が主体的に学習に取り組めるようにしました。 作家の制作過程を詳しく示すことで, 「自分ならどう作品をつくりたいか」と主体的に考えられるよう, 工夫しました。 生徒が主体的に表現活動を行えるよう, 巻末資料を充実させました。
〔共通事項〕への対応	<ul style="list-style-type: none"> 各題材に適宜, 〔共通事項〕に関わる問いかけを入れ, 生徒が〔共通事項〕を意識できるようにしました。 巻末資料で, 〔共通事項〕に関わる内容を多く取り上げました。
伝統・文化の 取り上げ方	<ul style="list-style-type: none"> 世界文化遺産に登録されている文化財を大きく取り上げてそのよさを感じ取らせる工夫をし, 他国の文化を尊重する姿勢を育成できるようにしました。
特別支援教育への配慮	<p>教科書のユニバーサルデザイン, カラーユニバーサルデザイン(色覚特性)と, 学習上支援が必要な生徒のために, 特に以下の点に配慮しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書の全てのページについて, 専門家の校閲を受けました。 図版と図版の間を空けたり, 罫線を引いたりして, 境界を明確に区別できるようにしました。 文字がやや小さくなる場合は, 読みやすさを強調してつくられたUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用しました。
製本・印刷など	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞図版や文字が鮮明に印刷できる, 発色のよいコート紙を使用しています。 環境への負荷が少ない, 用紙・植物油インキを用いています。 製本は堅牢で, 生徒がページを開きやすいよう綴じ方にも工夫をしています。

2. 対照表

	図書の構成・内容	学習指導要領の内容			該当箇所
		A 表現	B 鑑賞	〔共通事項〕	
はじめに	人を，社会を変えていく	(1) ア (ア) (イ) イ (ア)	(1) ア (ア) イ (ア)	(1) アイ	P.2-5
絵画・彫刻	比べて鑑賞する 花を描く		(1) ア (ア) イ (ア) (イ)	(1) アイ	P.6-7
	人物を描く	(1) ア (ア) (イ) イ (ア)	(1) ア (ア) イ (ア)	(1) アイ	P.8-9
	人の形を追求する	(1) ア (ア) (イ) イ (ア)	(1) ア (ア) イ (ア)	(1) アイ	P.10-11
	祈りの場を彩る		(1) ア (ア) イ (ア) (イ)	(1) アイ	P.12-19
	心の中の風景	(1) ア (ア) (イ) イ (ア)	(1) ア (ア) イ (ア)	(1) アイ	P.20-21
	版表現の可能性	(1) ア (ア) (イ) イ (ア)	(1) ア (ア) イ (ア)	(1) アイ	P.22-25
	抽象への誘い		(1) ア (ア)	(1) アイ	P.26-27
	素材と向き合う		(1) ア (ア)	(1) アイ	P.28-31
	不思議な空間をつくる		(1) ア (ア) イ (ア)	(1) アイ	P.32-33
デザイン	トータルデザインを考える	(2) ア (ア) (イ) イ (ア)	(1) ア (イ) イ (ア)	(1) アイ	P.34-35
	作家の生涯と作品 亀倉雄策		(1) ア (イ) イ (ア)	(1) アイ	P.36-37
	問題解決のためのデザイン	(2) ア (ア) (イ) イ (ア)	(1) ア (イ) イ (ア)	(1) アイ	P.38-41
	比べて鑑賞する 椅子のデザイン		(1) ア (イ) イ (ア) (イ)	(1) アイ	P.42-43
	住まいをデザインする	(2) ア (ア) (イ) イ (ア)	(1) ア (イ) イ (ア) (イ)	(1) アイ	P.44-47
映像メディア表現	風景を撮影する	(3) ア (ア) (イ) イ (ア)	(1) ア (ア) イ (ア)	(1) アイ	P.48-51
	採集するように撮影する		(1) ア (ア) イ (ア)	(1) アイ	P.52-53
	ミュージックビデオをつくる	(3) ア (ア) (イ) イ (ア)	(1) ア (イ) イ (ア)	(1) アイ	P.54-55
資料	写真撮影の基本	(3) イ (ア)	(1) ア (ア) イ (ア)	(1) アイ	P.56-57
	写真を編集する	(3) イ (ア)	(1) ア (ア) イ (ア)	(1) アイ	P.58-59
	漫画表現の技法	(1) イ (ア)	(1) ア (ア) イ (ア)	(1) アイ	P.60-61
	アニメーションの歴史		(1) ア (ア) (イ) イ (ア) (イ)	(1) アイ	P.62-63
	絵に隠された謎を読み解く		(1) ア (ア) イ (イ)	(1) アイ	P.64-65
	学習を支える資料一覧	(1) イ (ア) (2) イ (ア) (3) イ (ア)	(1) ア (ア) (イ) イ (ア) (イ)	(1) アイ	P.66-67
	【切り離し式】 トーン別カラーガイド	(1) イ (ア) (2) イ (ア) (3) イ (ア)		(1) アイ	P.69-72
	あとがき		(1) ア (ア)	(1) アイ	P.68,73